

# 30

2012

特集1 男性の育休取得率アップへ！

特集2 ちよだの街で映画祭

女性が映像を輝かせる時

# MIW

千代田区男女共同参画センター情報誌

# 通信

MIWでは、2009年6月の男女共同参画週間に、写真展「きらめきのひと 仕事を拓く」を開催しました。表紙の写真は、ご登場いただいた10人のうちの一人、菱川貞義さん(275研究所\*)です。



\*社会貢献をしている企業や団体を支援

「MIW」は千代田区男女共同参画センターの愛称です。MはMan(男性)、IはIntercommunication(情報や意見の交換)、WはWoman(女性)という意味です。男性と女性の間には、いつもI(自分らしさ)と愛(思いやり)をもって、対等な新しいパートナーシップを創造してほしいと願っています。

住友  
林業対象の男性社員の8割が育休を希望  
育休体験者の声を活かすアプローチ

「育児休業は大げさに考えず、先ず体験するのが大事」と話す住友林業株式会社の三浦将太さん。第1子の時に取れなかった反省から第2子の時には育休を経験。家族との関係も格段によくなり、仕事への取組み方も違ってきたとか。三浦さんの体験と区内企業住友林業の取組みについてご紹介します。



制度や育休体験者の声などが載っています

「男性社員のための育休体験ガイド」



三浦将太さんと第二子

一緒にいることが大事  
まずは取ってみよう！

三浦さんが育児休業を取ったのは、第2子が産まれてからの5日間。妻が病院から退院してきた日から始まりました。長男の面倒をみながら食事をつくり、生まれたての二男をお風呂に入れ、家族一緒に過ごしました。育児休業を取って本当によかったとおっしゃる三浦さんですが、実は、育休取得は長男の出産時の反省からでした。

「出産して子育てで妻に負担がかかっているとわかっていたし、手伝いたい気持ちもあったけど、本音を言えば休みの日にケアすればいいや、ぐらいに思っていたんです。実際、時間的に不規則で特に忙しい部署にいたので、帰りが夜11時。出張も多く、正直、育

休を取るなんて無理との気持ちもありました。

ところが、妻の様子が変わってきたんです。何となく言葉少なになって、ファッションにもだんだん気を使わなくなってきた。心の疲れが出てきたんですね。何も言っていないかったけど、いや、言っていないでも気づかなかったのかもしれませんが、『気分転換にどこか旅行に行こうか』と切り出した時、妻がものすごく嬉しそうな表情をしたのを見て、妻を本当に疲れさせてしまったのは、自分なんだなと気づかされました。休日のケアぐらいいいじゃ、ダメなんだ」と

三浦さんの妻は、現在は専業主婦ですが、以前は同じ会社の社員。夫の会社での忙しさの事情も分かり、言葉で育休を要望できなかったのではと思うと三浦さんは話します。ですから、第二子誕生の時には、一も二もなく三浦さんから妻に切り出し、育休を取得したので。

「妻と子どもたちと一緒にいて、食事やお風呂に入れたりお手伝いはしたけれど、特別気負って何かしたわけではなかったと思います。一緒の間を過ごし、一緒にいることが妻の心理的負担を軽減できたかな。小学校入学直前の長男

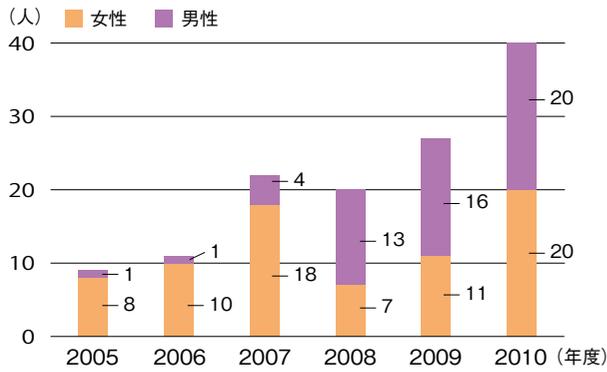


人事部ワーク&ライフグループ  
中田美弥子さん

も、弟の誕生という時に、自分のいろいろな気持ちを疲れて寝ている母親には話せない。父親という存在がいてよかったですと思います。だから、育休を大げさに考えず、まず、取ってみてと、男性の皆さんに言いたいですね」と話されます。実際、育休を取ったことで、その後の妻や子どもとのコミュニケーションはとて良好だと言います。

住友林業では他にも育休を取った男性社員から、「日頃妻がしていることを一通りやることで、家庭を見つめ直す機会になった」「妻から『育休を取って』と言われる、職場の同僚からもこれから後に後輩たちが気軽に育休が取れるよう積極的に取ってと言われた」「有給での育休なら、5日間でも休みたくな人はいない」などの意見があり、人事部では「男性社員のための育休ガイド」や社内イントラネットに積極的に載せています。

育児休業取得者数の推移



住友林業では2005年から2010年の間に、累計で55人の男性社員が育児休業を取得しました。

育児に関する取組み (2010年4月1日改定)

育児休業	子が1歳6ヶ月または1歳到達直後の3月31日までのいずれか長い期間、休業を取得することができる。
勤務時間の短縮等の制度	子が小学校6学年末を迎えるまでの間、始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げ、短時間勤務、週休3日制、所定外労働免除の利用が可能。
子の看護休暇および行事休暇	小学校6学年末までの子が病気や怪我をした場合、年10日の休暇を時間単位で取得することが可能(100%給与支給)。年10日のうち5日までは、子の行事のために利用可能(子が2人以上の場合は年5日を追加)。

2010年度実績

出産した女性社員の育児休業取得率	100%	男性社員育児休業取得者	20名
------------------	------	-------------	-----

仕事にも活かせる育児体験



育児休業取得は、家族にだけでなく、仕事の面でも活かされる経験となっています。先の三浦さんも「育児を経験したことで、職場でも相手の気持ちを思いやるコミュニケーション、多様な働き方を認めよう大切さを再認識した」と言います。他に、「実際に数日間でもずっと子どもと自宅で過ごすことで、家の中の危険なポイントや家具の配置など、新たな発見があり、住宅を購入入される方の視線を体感することにも役立った」「子どもの成長を体感でき、妻子の日常生活が把握できたので、仕事上も時間を意識して業務に取り組めるようになった」「育児休業を取得するにあたり、職場だけでなく関係する工務店や工事店等にも協力と理解をお願いすることで、『積極的に子育てしてるね』と言っても

らえた」などの感想も出ているとのこと。

対象男性社員の8割は「育児取りたい！」

住友林業では、2010年度の制度改定で、育児休業を対象期間中に男性社員の場合、理由を問わず、二回取得でき、最初の5日間はともに有給としました。2010年の男性の取得者は20名、取得率は1割以上で、現在の男性の育児取得率1.38%と比べると高い数値です。

また、子どもが小学校のうちには、勤務時間の短縮等の制度や子の看護・行事休暇など、育児に参加しやすい制度も整備されています。

人事部ワーク&ライフグループ中田美弥子さんによると、子どもが生まれた男性社員に向けて、育児取得意向についてのアンケートを実施したところ、男性の8割は育児休業を取りたいと回答。中田さんは、取得したい男性たちがこんなにも多いのかと改めて実感したと言います。

「育児が5日間は有給であることが、取ってみたい、取れそうとの気持ちにつながっているのでは」と話します。さらに、育児を取れる状況にす

るためには、本人だけではなく、上司の理解と育休へのあと一押しがポイントと考え、上司に向けた取組みもしています。例えば、上司に部下の育児休業取得の意向を聞き取ってもらうなど。育休について上司と話し合うことで、コミュニケーションを図り、育休をスムーズに取れる環境が作られます。

また、いつ育児休業を取るかは先が読めるので、日頃から職場でバックアップ体制を整えておくことができます。そうした体制の整備や支援は、男性の育児休業だけでなく、親の介護や子どもの病気への対応としても大切です。

住友林業では、毎月一回6時には一斉消灯となる「パークフェクトノー残業デー」を実施しています。先の三浦さんは、この日ばかりは6時前に仕事を切り上げ家に急ぐとのこと。育児休業を取って、自分の働き方も違ってきたと言います。

「男性の育児休業をワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)のスタートと考えたい」と会社全体のワーク・ライフ・バランスの取組みをさらに広げていきたいと中田さんは話していました。

\* 「2011年度雇用均等基本調査」厚生労働省

旭化成  
グループ

## 男性の育休取得率 40%への取組み

昨年度（2010年度）、区内に本社のある旭化成グループで育児休業制度を利用した社員は405人で、うち女性が179人、男性が226人でした。お子さんが生まれた男性の40%が育児休業を取得しています。男性の育休取得率が1.38%\*であるなか、非常に高い数値です。男性が育児休業を取りやすい制度について人財・労務部の吉澤明美さんに伺いました。

\*「2011年度雇用均等基本調査」厚生労働省

本人と上司のためのガイドブック『出産・子育てのときに』



育児休業の対象者だけでなく、上司にも配られるのがポイント

## 夫婦交代で10ヶ月の育児休業

千代田区内に本社のある旭化成グループでは、女性の育児休業取得率はほぼ100%で、男性の取得率も40%と、仕事と育児を両立させるための育児休業や育児短時間制度が充実しています。旭化成グループで働く社員のなかには、夫婦で約10ヶ月の育児休業を取得され（妻が4ヶ月、夫が6ヶ月）、育児に専念している方々もいます。

こまめな対応が  
男性育休取得率40%に

旭化成は、地方の繊維工場に女性社員が多かったこともあり、既に昭和40年代には、1年間の育児休業制度がありました。その後、1999年に、男女とも、子どもが3歳までの育児休業制度が整備され、2006年には、さらに拡充されて、男性の取得がグンと伸びました。理由は、配偶者が専業主婦でもOK、1歳までは5日間有給の育休が複数回取得が可能など、社員の声により制度が使いやすくなった点です。

さらに、男女ともに、子どもが小学校入学まで、最大1日2時間30分単位で短縮できる短時間勤務制度や、小学3年まで短時間勤務ができる「キッズサポート制度」も整備され、社内でも男女とも育休や育児への理解が進んでいます。

制度の充実だけでなく、こまめに育児休業を促す取組みもしています。そのひとつが、本人と上司のためのハンドブック『出産・子育てのとき』。育児支援制度や育休を取る際の仕事や職場との調整での注意点が盛り込まれて、本人と上司に配布されます。さらに吉澤さんたち人財・労務部の社員が、お子さんが生まれた男性社員だけでなく、上司にも「育児休業をとりましょう」とこまめにメールを送っています。

「本人だけでなく、上司にも送ることで効果があるようです。年間にするとかなりの回数になります。地道な取組みが効果を上げているのでは。」（吉澤さん）

## イクメン川柳人気爆発！

昨春秋、男性の育休促進にと、社内ですべてイクメン川柳を募集しました。育児に関わっている男性社員やその職場の方たち252人から約600作品が寄せられました。社員の投票で大賞となったのは「寝かし付け 子より先寝て叱られて」でした。

「育休を経験して実感として詠んだ作品が多く、掲載したHPのアクセス数は過去最高。育休を取ろうとの職場の雰囲気づくりになりました」と吉澤さんは話しています。

## ワーク・ライフ・バランスを進めるために

## シンポジウム「今、企業と自治体のパートナーシップを考える」



▲分科会の様子：「子育て応援宣言企業」として登録した企業に対する融資の優遇制度や、経営者に向けて書かれた104人の女性の手紙やワンストップ相談の内容をまとめた冊子などの具体例が紹介されました。

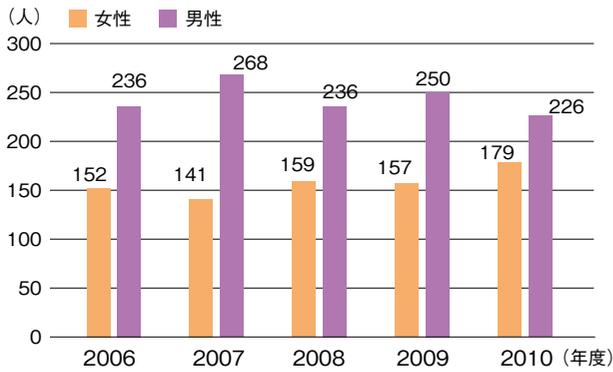
主催 子ども未来財団「企業の次世代育成の推進に資する自治体支援のあり方に関する調査」研究班



▼全体会議の様子：基調講演と「企業・団体にWLBを積極的に進める自治体の取組み」についてのパネルディスカッション

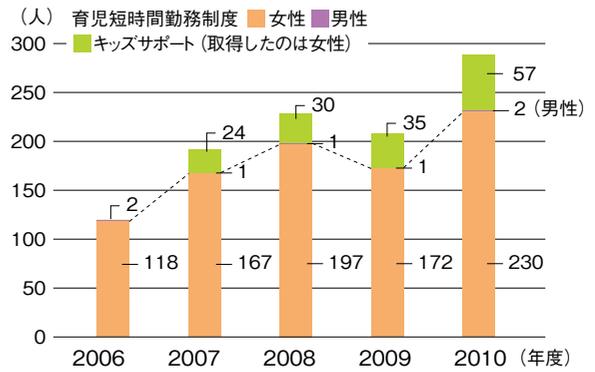
昨年12月、東京大学で企業と自治体とのワーク・ライフ・バランス（WLB）推進に向けた取組みの報告会が開かれました。佐藤博樹さん（東京大学教員）から、女性だけでなく男女を対象としたWLB支援、旧来型の男性中心の働き方を前提とした仕事管理・時間管理を見直し、男性の家庭や地域の生活への参画促進の2つが必要との基調講演がありました。分科会では、企業の取組みを促進する施策、実際にWLB先進事例から共有できるノウハウの紹介、個人に対する支援などが活発に議論されました。

育児休業取得者数の推移



2006年から育児休業が5日間有給になり、男性の取得者が急増。この5年間、毎年200人を超えています。

育児短時間勤務制度・キッズサポート短時間勤務制度の取得の推移



短時間勤務とフレックスタイム制度を併用して、育児のための時間を取得しやすいよう制度を工夫しています。

# 育児休業を取得しよう!

旭化成グループには、仕事と育児を両立させるための育児休業や育児短時間勤務制度など、さまざまな支援制度があります。育児休業制度は2006年度の改定から5年が経過しました。男性の育児休業も、年間200名以上の方が取得していますが、まだ取得されていない方も多数います。そこで2011年9月から10月にかけて、男性の育児参加を側面から応援するためにイクメン川柳の募集を行いました。

## イクメン川柳 入賞作発表!

たくさんのご応募ありがとうございました。

応募作品はお子さまへの愛情、育児の実感、配偶者への感謝、ご両親への感謝など心温まるものばかり、252人から総数600句の応募がありました。まず事務局で100句を選考し、そのなかから従業員の皆さんによる投票で入賞作が決定しました。入賞作はEO推進室ホームページでも公開しています。

**鬼隊長** かばんの臭には 離乳食  
チャウチャウチャウ

**鼻歌が** 気付かぬうちに 童謡に  
とーちゃん

**なぜないの?** 男子トイレに オムツ台  
ゆなママ

**水曜日** 間に合え! 寝顔じゃない君に  
イクメン飯食中

**イクメンに** なってるはずが まだ独身  
恋人募集中

**「ママがいい」** ああ家庭でも 査定され  
中堅はつらいよ

**「パパがいい!」** 我が子のひと声 やる気湧く  
ゆかまる

**イクメンを** してるつもりが 育てられ  
ウッチー

**「一番の苦手です。仕事で疲れているときなど、逆にトントンされて寝ていたことも。様子を見に来た妻に怒られることもしばしば」**  
(受賞のことは) 実体験そのものを素直に川柳にしたものです。夫婦で、「こういうことあるね」と共感し、苦笑していただければ幸いです。本賞を、親愛なる妻、娘、そしてペンネームを借りたイクメンカリスマ=故ジョン・レノンに捧げます。



**大賞** 寝かし付け 子より先寝て 叱られて  
ジョン・レノン

# 輝かせる時

昨年10月、芸術の秋に、千代田区内で、東京国際女性映画祭と明治大学での国際シンポジウム「映像メディアにおける女性の活躍」が開かれました。MIWではこれらにちなんで、山崎博子映画監督をお迎えし、映画制作についてのお話を伺い、女性監督の映画上映や映画ポスターを展示しました。今、世界の映像メディアの分野で、イキイキと女性たちが活躍しています。今号ではその様子をお伝えします。

関わる施設いろいろ

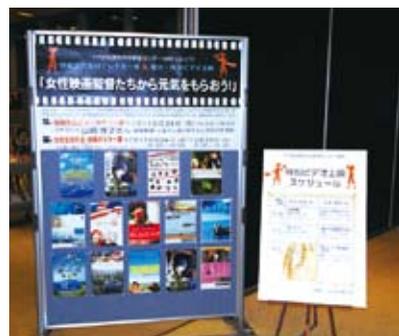


MIW  
千夜一夜

2011年10月24日～25日

## 女性映画監督たちから元気をもらおう 山崎博子監督のお話とポスター展

区民ホールいっばいに展示された女性監督の映画ポスター、女性監督の映画上映、そして、山崎博子監督をお呼びして映画制作に関わるお話を伺ったMIWのイベント情報交流会千夜一夜「女性映画監督たちから元気をもらおう」。女性たちが描き出す多彩な映画の世界と、熱い思いを抱きながら自分のスタイルを貫く山崎監督の話に聞き入りました。



区民ホールいっばいにポスターが展示され、会場奥のモニターで映画を上映しました



リーフレット

# 女性が映像を

2011年10月24日～25日

## 「映像メディアの世界における女性の活躍」シンポジウム

明治大学

韓国・台湾・インド・日本で活躍する9人の女性映画人による国際シンポジウムが、明治大学情報コミュニケーション学部ジェンダーセンター等の主催で行われました。女性だからこそ持てる視点と、より普遍的なテーマへの挑戦、女性ならではの大変さと共同制作の醍醐味、映画を制作・上映する困難さが語られ、そして、困難に出会ってもあきらめず、夢を持ち続けた女性たちから元気をもらいました。



2日目は山崎博子監督の「女性監督にカンパイ!」の上映

千代田区の映画に

アテネ・フランセ文化センター

岩波ホール



セルバンテス文化センター東京  
東京国際女性映画祭



2日にわたって行われたアジアの女性映画人のシンポジウム

2011年10月23日～26日

## 東京国際女性映画祭



パンフレット

2011年で24回目を迎える東京国際女性映画祭は、数ある映画祭のなかでも他に例のない女性映画という切り口での映画祭です。今回は、インド・韓国・イスラエル・台湾・スペイン・フランス・スウェーデン・日本から12人13作品が上映されました。内容は台湾の歴史を背景に53年ともに過ごした夫の介護をめぐる女性の苦悩、性暴力被害からの回復など。震災後を撮った我謝京子監督の『3.11ここに生きる』の上映には、被災された方も招待されました。



受付風景

山崎博子監督と司会の堀口悦子  
明治大学教員  
山崎監督の映画を観た後、お話を伺いました。



山崎博子監督作品  
「juxta-ジャクスタ  
共生する」から



## 山崎博子監督のお話とポスター展

MIW

映画『ジャクスタ・共生する』  
に込めた思い

MIWの情報交流会では、ま  
ず山崎監督の映画『ジャクス  
タ・共生する』を上映しました。  
1989年の監督の初作品で、  
アメリカ兵を父に、戦争花嫁で  
あった日本人女性を母に持つ  
女性ケイトの31歳の現在と5  
歳の回想が交錯する映画です。  
母親とその友人の女性たちを  
通して、アメリカの中の複雑  
な人種差別構造のなかで翻弄  
される人間が描かれています。  
「白人と結婚したケイトの母は、  
アフリカンアメリカン(黒人)  
と結婚した友人の子どもを差  
別してしまう。アメリカでマ  
イノリテイ(少数派)である  
日本人が同じマイノリティを  
差別していく複雑な構造に落  
ち込み、彼女は精神を病んで  
いく。この作品を通して『私  
は誰?』という問いを模索し  
ながら、異人種・異文化交流、  
共生への願いを込めた」と山  
崎監督は語りました。

グローバル化がますます進  
む現在、多様性を認め理解  
することが求められています。  
男女共同参画とは、まさしく  
共生すること。この映画のテー  
マと通じます。会場からは、「こ  
の映画を見られてよかった。人  
が人を差別しない社会が大切

だと改めて思った」等の感想  
が寄せられました。

### 女性が映画をつくること

会社勤務の後、28歳で渡米  
して映画制作を始めた山崎監  
督。アメリカで多様な価値観  
を経験し、互いを認め合うた  
めには、情報や価値観を分か  
ち合うことが大事と実感した  
といいます。「映画を通して、  
ぶつかり合いがありながらも  
分かり合える姿を描きたい」  
そんな思いが映画制作の原動  
力になったとのこと。また、  
1980年代以降、女性監督  
がめまぐるしく活躍していく  
背景には、デジタルビデオカ  
メラの普及があったといいま  
す。重たい機材から解放され、  
軽いビデオカメラを手に、少  
ない予算でも映画が撮れるよ  
うになって、女性たちが力を

発揮してきたのです。

山崎監督は、「映画を支える  
のは観客。自分もただ観客  
に支えられてきたか。観客の  
側が、自分たちが求めている  
ものが映画にあったら、反応  
してくれる。多様性を認め合  
うことから豊かな社会を作っ  
ていきたい」と話されました。  
期間中、シネマナビゲーター  
の菅井六花枝さんのご協力で  
より、女性映画監督作品のポ  
スター(ドラマ30本、ドキュ  
メンタリー12本の計42枚)を  
展示し、MIW所蔵の女性監  
督の映画も上映しました。参  
加された方からは、「年を重ね  
てよりイキイキとしている女  
性たちや、アラブやアジアな  
どの地域で生きる女性たちの  
苦悩やたくましさや映画を通  
して知ることができた」との  
感想を頂きました。

### ■上映した女性監督の映画作品

10月24日(月)	
10:30~	「百合祭」100分 監督 浜野佐知
12:30~	「蛇イチゴ」108分 監督 西川美和
14:30~	情報交流会千夜一夜 「juxta- ジャクスタ 共生する」 29分 監督 山崎博子(お話あり)
10月25日(火)	
10:30~	「ルイズとケリー」76分 監督 ジェーン・カンピオン
12:30~	「森の中の淑女たち」101分 監督 シンシア・スコット
14:30~	「Women In Struggle -目線-」 56分 監督 プサイナ・C・ホーリー

すべてMIWで所蔵しています。



我謝京子 (ドキュメンタリー映画監督)



国広陽子 (東京女子大教員)

10月24日 (月)  
アジアの  
女性映画人のいま  
新たなネットワーク構築



小藤田千栄子 (映画評論家)



山崎博子 (映画監督)

10月25日 (火)  
メディアで拓いた  
女性のキャリア  
映画とテレビ



チェン・ウェイ・スー (台湾女性映像学会女性映展代表)



イ・ヘギョン (ソウル国際女性映画祭代表)



内田ひろ子 (東京国際女性映画祭事務局長)



ラティ・ジャファール (インド/チェンナイ・サムスン国際女性映画祭代表)



ファン・ミヨジョ (ソウル国際女性映画祭実行委員)

(敬称略)

## 明治大学 「映像×ディアの世界における女性の活躍」シンポジウム

### アジアの女性映画人の エネルギー

昨年、明治大学で開かれた「映像メディアの世界における女性の活躍」は、同大学のジェンダーセンターならではの企画であり、一昨年ソウルで発足されたアジア女性映画祭ネットワーク (NAWFF) の第2回目事業でもありました。

初日の国際シンポジウムは、「二人で見る夢は現実になる」との韓国のイ・ヘギョンさんの言葉で始まりました。参加したのは、日本、台湾、インド、日本のアジアの女性映画人9人。各国での映画と女性をめぐる現状が活発に語られました。なかでも、眼を見張ったのが韓国。国の文化政策に映像文化を位置づけ、映画事業や教育に予算を付けて、国をあげて映画の世界で女性の活躍を後押ししています。さらに、台湾やインドでも、30、40代の女性監督が育っていることが紹介されました。

一方で、映像の世界は男性社会で女性が少数派であること、西欧文化中心だった中でアジアで生きるアイデンティティを持って新たな文化を切り開いていく苦労。映画制作の資金不足も語られました。

さらに、女性への暴力や女性自身のからだ、家族関係などをテーマにしてきたこれまでの女性映画の流れとともに、移民やセクシュアル・マイノリティ (性的少数派)、グローバル化される世界のなかでの多様性がテーマとなっている。現在についても語られ、「女性」という切り口で世界でネットワークを広げることの大切さが、活発に語られた2時間でした。

### キャリアを作って 困難を乗り越えていく

2日目は、映像の世界で活躍する日本の女性映画人のシンポジウム。まずは、山崎博子監督の『映画監督にカンパイ!』が上映されました。これは、世界の12人の女性監督たちが、監督としての仕事、プライベートな素顔等を本音で語った作品で、女性監督の映画への意気込みが十二分に伝わってきました。

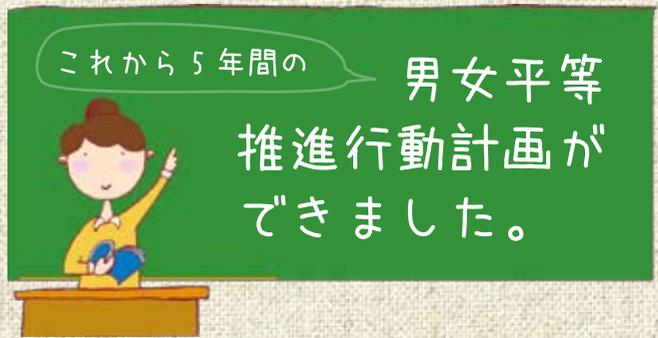
我謝京子監督からは、「私は、リビングでPCを使って撮影した映像を作品に仕上げている。インターネットを使って資金を集めることもできるようになった」と、女性が映像の世界で活躍する背景には、映像機器やソフトウェアの開発があったこと、資金がなくな

りても個人でドキュメンタリーが撮れるようになったことが紹介されました。山崎監督は、「男女問わず、多様性をテーマにしたオルタナティブな映画は、商業映画ではなく、独立プロとしてやって行く流れになっている。そして、それに共感した観客が映画を育ててくれる」と発言されました。

さらに、2001年にニューヨークに住んでいて、9.11事件を経験した我謝監督は、その被災経験をもとに、3世代の女性の物語『母の道 娘の選択』を制作し、自身の作品を通して、女性ならではの視点についても話されました。また、映画制作のなかには、女性独自の「呼吸」があり、感性の部分で、男女の微妙な違いを感じる。それを大切にしたいと言います。

さらに2人が共通して語ったのが「監督は男性」との社会の刷り込みのなかの大変さ。そして、「困難な中でも先輩の女性監督たちに、共感できる部分があり、背中を押してもらった。監督の女性がイキイキしていることが、これから映像の世界で女性たちが活躍していく場を広げる原点になる」と、観客も元気になる言葉ももらいました。

「第4次男女平等推進行動計画」で千代田区では、男女共同参画社会を実現するために、基本理念・基本的な考え方・目標を次のように定め、施策を推進します。期間は、平成24年度から5年間です。



**基本理念**

性別による不平等がなく、だれもが自分で生き方を選ぶことができ、その選択が認められて参画できる社会の実現

**基本的な考え方**

人生の選択肢を広げ、より多様な生き方のできる社会をめざす

人々の生活や働き方の変化に即した、具体的で実効性のある支援をする

DV・虐待等の根絶をめざすとともに、被害者の支援をすすめる

**目標**

- ①**

人生の選択肢を広げるとともに、男女平等意識の定着を図る
- ②**

すべての暴力をなくし、安全・安心な社会を実現する
- ③**

あらゆる分野において男女共同参画をすすめる
- ④**

人々の暮らしや働き方の変化に対応した、支援の充実を図る
- ⑤**

推進体制の充実を図る

**施策の方向**

- |   |  |  |  |   |
|---|--|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 人権尊重・男女平等に対する意識啓発</li> <li>(2) 学校における人権・男女平等教育の推進</li> <li>(3) 生涯にわたる健康支援</li> </ul> | <p style="text-align: center;"><b>配偶者暴力対策基本計画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 配偶者暴力の防止・早期発見・被害者支援</li> <li>(2) デートDVの防止</li> <li>(3) 児童・高齢者・障害者に対する虐待の防止・早期発見・被害者支援</li> <li>(4) いやがらせ行為・性暴力等の防止</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 意思決定過程への女性の参画の推進</li> <li>(2) NPOやボランティア等、地域における市民活動の支援</li> <li>(3) 男女共同参画の視点を入れた防災・まちづくり</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 男性の家事・育児・介護への参画の支援</li> <li>(2) 子育てをしている人の社会参画の支援</li> <li>(3) 介護・介助を必要とする家族がいる人の社会参画の支援</li> <li>(4) 働きやすい職場づくりに向けた情報提供・啓発の充実</li> <li>(5) 働きたい・働き続けたい女性に対する支援の充実</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 男女共同参画センターMIWの充実</li> <li>(2) 区役所内推進体制の充実</li> <li>(3) 区民との協働による推進体制の充実</li> </ul> |
|---|--|--|--|---|

千代田区のホームページでもご覧いただけます URL <http://www.city.chiyoda.lg.jp/service/00004/d0000499.html>

【入手先】 男女平等推進計画（有料200円）：区政情報コーナー ※男女共同参画センターMIW、区内図書館で閲覧できます  
 計画の概要版（無料）：国際平和・男女平等人権課、MIW、出張所、図書館等 ※なくなり次第終了となります。

現在、MIWの登録団体は32。登録団体の皆さんに、順にグループの活動について書いていただいています。

## 登録団体

### ザ・ボディショップ「デイジークラブ」 女性や子どもの権利を守る活動



#### ◆ザ・ボディショップのバリューズ

ザ・ボディショップは英国の化粧品専門店で、「人権擁護・動物愛護・環境保護」を理念に掲げています。私たちは社員ボランティアとして「デイジークラブ」というグループをつくり、MIWの登録団体になっています。ザ・ボディショップはこれまでDVやエイズ、子どもの人身売買の問題を取り上げた啓発キャンペーンを世界中の店頭で実施してきました。ザ・ボディショップの行動指針であるバリューズ（価値観）の1つに、「セルフエスティーム（自分らしさを大切にします）」という考えがあります。誰もがありのままの自分を好きになり、ポジティブに生きてほしいとの思いを持って、心地良い商品を提供し、女性の人権を守る活動に取り組んでいます。

女性や子どもの権利を守る活動はMIWの活動と共鳴する部分も多く、2006年のDV反対キャンペーンをきっかけに、毎年、千代田区の福祉まつりなどのイベントなどを通して一緒に活動しています。

#### ◆社員一人ひとりの力で

店頭キャンペーンや地域でのイベントのために、ワークショップや勉強会を開き、人権や暴力についても自分の問題として考えられるように準備しています。普段の販売の中で、お客さまとの会話やリーフレット、寄付つき製品の販売を通じて、社会で起きていることへ問題提起をしています。

また、ザ・ボディショップの社員は月に半日、就業時間内にボランティア活動ができる「コミュニティ活動プログラム」を利用しています。技術を生かしたメイクやハンドマッサージのボランティアを行う社員も多く、女性の自立支援イベントや男女共同参画センター、高齢者施設等でとても喜んで頂いています。地域の一人として活動に参加することは、社員のセルフエスティームにもつながっています。



昨年の千代田区「福祉まつり」でハンドマッサージをするメンバー

「男女共同参画センター横浜」での  
メイク講座



「かこしま女性医療フォーラム」でのハンド  
マッサージ

## MIW パープルリボンプロジェクト 2011

今年7年目を迎えたMIWのパープルリボンプロジェクト。DV（ドメスティック・バイオレンス）などの暴力をなくす思いを紫色のリボンに込めて、今年度も11月の「女性に対する暴力をなくす運動」期間に、コンサートやキルトの展示を行いました。また、今年度はMIWスタッフがオリジナルのパープルリボンブローチを270個作成し、利用者や庁内の職員につけてもらい、暴力のない世界への願いをアピールしました。



MIWオリジナルパープルリボンブローチ



ジャズの調べに乗せて、やさしさや平和の思いが伝わってきたパープルリボンコンサート

## 親子で楽しむ カラーセラピー

今年2月に親子がそれぞれにカラーセラピーを楽しむグループワークを開きました。親たちはぬりえに色をつけ、アートセラピストの末永蒼生さんから、絵や色に表れる子どもの気持ちについての話を聞きました。「力を抜いて子どもと接していいんだって気づいた」「色と触れ合うことで、自分の心がラクになりました」などの感想をいただきました。子どもたちは水彩や粘土、ダンボールなどの画材を使って思い思いに気持ちを表現。できた自分の作品を大事そうに抱え、興奮冷めやらずでした。



末永蒼生さんと参加者が思い思いに色を塗ったぬりえ



会場は区民ホール。親子が別々のワークでも、同じフロアで声が聞こえて安心でした



子どもたちはすぐに夢中になり自分たちの世界に

### MIW 相談室

MIWの相談室では、夫婦関係、男女の生き方・働き方、性に関すること、セクシュアル・ハラスメントや夫婦や親密な間柄での暴力などについて相談を受けています。相談は面接でも電話でも可。予約制になっています。(区内在住、在勤、在学の方対象)

電話での予約 **TEL 03-5211-4316**

〈無料・カウンセラー(女性)が担当します〉

◆相談日時 ※(英)=英語での相談もできます。

水曜日		金曜日	
第1・3・5	10:30～15:30	第1・3・5	10:30～15:30 (英)
第2・4	17:00～21:00	第2・4	17:00～21:00 (英)
木曜日		土曜日	
第1・3・5	17:00～21:00	第1・3・5	10:30～15:30
第2・4	10:30～15:30	第2・4	10:30～15:30 (英)

### MIW インフォメーション

#### MIW 千夜一夜 83 夜

当世オトコ気質 喜婚男と避婚男 ～これからの男女の関係は?～

日時 2012年4月25日(水) 18:30～20:00

場所 MIW 交流サロン(区役所10階)

ゲスト ツノダ姉妹(マーケティングプランナー、『喜婚男と避婚男』著者)

#### 24年度 連続講座 シリーズ全5回「幸福へ向かう生き方」

- 第1回 5月24日(木) 18:30～20:30  
今、日本での『幸福度』とは? 講師:坂本光司さん(法政大学教員)
  - 第2回 6月6日(水) 18:30～20:30  
自分で作る穏やかな気持ち 講師:岩本令子さん(セラピスト)
  - 第3回 6月19日(火) 18:30～20:30  
地域でつくる安全・安心な人間関係 講師:松本和子さん(カウンセラー)
  - 第4回 6月27日(水) 18:30～20:30  
男女共同参画のバイオニアたち 講師:赤松良子さん(元文部大臣)
  - 第5回 7月6日(金) 18:30～20:30  
自分を活かす仕事、働き方(仮) 講師:西村佳哲さん(働き方研究者)
- 全体のまとめ、『MIW 通信』での座談会も予定しています。申込開始4月20日(金)



## 千代田区男女共同参画センター MIW (ミュウ)

所在地 〒102-8688 東京都千代田区九段南1-2-1 千代田区役所10階  
交通機関 東京メトロ東西線、半蔵門線、都営地下鉄新宿線「九段下」駅下車、徒歩5分  
開館時間 月曜日～金曜日 午前9時～午後9時 土曜日 午前9時～午後5時  
休館日 日曜日、祝日、年末年始  
TEL 03-5211-8845 / 相談予約受付 03-5211-4316 FAX 03-5211-8846  
E-mail miw@city.chiyoda.tokyo.jp  
URL http://www.city.chiyoda.lg.jp (MIW で検索してください)  
開館時間・相談時間は節電の影響で変更になる場合があります。

編集後記 ■東日本大震災から1年が過ぎました。被災地の早い復興を願わずにはいられません。さらに、今後発生が見込まれている大きな地震と津波への備え、放射能汚染から健康を守ることなど、大きな課題も背負っています。情報を読み解く力が強く求められています。(H)